

第33回 関東地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日時 令和6年10月31日（木）14：00～16：30
2. 場所 さいたま新都心合同庁舎2号館14階 災害対策本部室
3. 出席委員 清水委員長、石井委員、池田委員、伊藤委員、小笠原委員、久保委員、関委員、玉井委員、知花委員
4. 議事 定期報告：渡良瀬遊水池、宮ヶ瀬ダム、草木ダム、八ッ場ダム
事後評価：八ッ場ダム建設事業
5. 審議結果
定期報告4ダム、事後評価1ダムについて了承された。
6. 主な意見
 - 1) 渡良瀬遊水池定期報告について
(委員) 第二調節池の湿地再生の取り組みの結果、「首都圏でのコウノトリの復活」が実現できた。しかしながら、堤内地側の水田や一級河川での連続性の確保等、周辺には課題もあるので、今後も引き続き、周辺自治体と連携しながら取り組んで頂きたい。

(委員) イノシシは繁殖能力が強く、放置すると周辺に問題を引き起こす可能性が高いため、頭数管理等の対策を実施していく必要がある。
 - 2) 宮ヶ瀬ダム定期報告について
(委員) 水とエネルギー館は環境・防災教育に活用できると思う。子供の時に宮ヶ瀬ダムに来た人が、大人になって子供を連れてくるというサイクルができており、宮ヶ瀬ダムに来て知ってもらおう環境・防災教育を継続して頂きたい。
 - 3) 草木ダム定期報告について
(委員) 貯水池底質の重金属の動態について引き続き注視して頂きたい。
 - 4) 八ッ場ダム定期報告について
(委員) 貯水池内の窒素がやや多いように見える。富栄養化の問題が起こる可能性があるため、それらに対する今後の対策について留意をして頂きたい。
 - 5) 八ッ場ダム建設事業事後評価について
所期の目的が達成されており原案で了承する。